

災害復旧活動を円滑に支援するために！ 災害対策用機械の操作訓練【12月期】を実施しました

関東技術事務所では、いつでも災害対策用機械を適切に運用・操作できるよう、当所で保有する機械を使用して定期的に職員による操作訓練を実施しています。

今月は災害時に役立つ器具を中心とした操作訓練を実施しました。

- ◆日時 : 平成26年12月10日(水) 13:00～
- ◆場所 : 船橋防災センター(船橋市東船橋5-2-1)
- ◆参加者 : 11名(関東技術事務所職員)
- ◆講習器具 : テントハウス、車両移動装置、1トンのう製作器(土のうメーカー)

訓練状況



訓練前ミーティング



「1トンのう製作器」をテントハウスより取り出し



作業場所に搬送・組立



車両移動装置訓練



参加者の声

首都直下地震では都内幹線道路に放置された車両による緊急車両の通行阻害が懸念されているなか、今回訓練した「車両移動装置」は小回りも利き操作も簡単で、有用な装置と感じました。しかし人力なので体力的に移動できる数には限界があるとも思いました。

今回訓練した設備・器具の概要

◎テントハウス

大規模災害時の応急復旧に必要な資材を収納するための資材庫で船橋防災センター敷地内に8棟設置。

①サイドのひもを外し作業開始



②留め紐を外し



③正面幕を開き横梁を外す



④縦柱を外す



⑤ 人力でスライド



⑥開放作業完了

2011年東日本大震災や2013年伊豆大島土砂災害の時に、テントハウスに保管していた「綱矢板」や「1トン土のう袋」などの資材を被災地へ搬出しました

◎1トン土のう製作器(土のうサポーター)

大型土のうを迅速に製作できるように工夫された支持治具で、組み立てて使います。

①円盤台座に柱を差込み



4本差込後→

②土のう袋を金具で支持



③重機で土を投入



◎車両移動装置

首都直下地震などの地震発生時に、道路上に放置された車両を移動し、緊急車両が通行できるようにするための装置。車両重量2t程度までの車両に適用可能。

①各車輪にセット



②ジャッキアップ



③4輪UPLし車両を移動

